

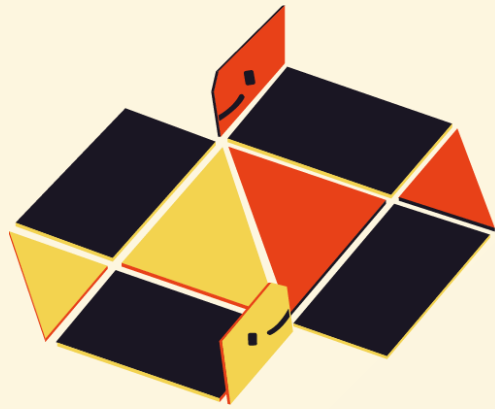
# オンラインコミュニケーションの課題と、その乗り越え方

中村 優 / @chanyou0311

# 中村 優



- ちゃんゆー / @chanyou0311
- 広島出身広島在住のエンジニア、高専出身
- お仕事はデータ分析基盤の構築、運用
- 趣味はクルマと工作



**PYCON**  
**JP 2022**

**PyCon JP 2022 を10月に開催します**

# PyCon JP 2022

- 日程: 10/14(金) から 10/16(日) まで
- 会場: TOC有明コンベンションホール
- ウェブサイト: <https://2022.pycon.jp>
- connpass よりお申込みください！

# オンラインコミュニケーションの課題と、その乗り越え方

# 今日お話すること

- オンラインコミュニケーションの課題とは？
- オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方

## 注意

- 学術的な裏付けや根拠はなく、自身の経験と推測に基づいた解釈をお話します。
- 「そういう見方もあるかも」くらいで、さらっと聞いてもらえると嬉しいです。

# 今日お話ししないこと

- リモートワークのメリット
- リモートワークのコツ

あえて今日は触れません！



**オンラインコミュニケーションの課題とは？**

**あらゆる状況において、情報の偏りを生んでしまう**

# あらゆる状況において、**情報の偏り**を生んでしまう

- 個人
- チーム
- 組織全体

## 日々インプットする情報に偏りが出てしまう

- 読んだ書籍、チェックしているニュースサイト等が偏ってしまう

## 日々インプットする情報に偏りが出してしまう

- 読んだ書籍、チェックしているニュースサイト等が偏ってしまう
- chanyou は普段 Python を書いているので関心がそちらに寄りがち
  - 一方で Ruby の動向は何もわからない

## 日々インプットする情報に偏りが出してしまう

- 読んだ書籍、チェックしているニュースサイト等が偏ってしまう
- chanyou は普段 Python を書いているので関心がそちらに寄りがち
  - 一方で Ruby の動向は何もわからない
- 重要な情報を見逃しているかも...

## 社内メンバーのスキルや人間関係がわからない

- 組織に長くいればいるほど、誰と誰が一緒に仕事していたか把握できる

## 社内メンバーのスキルや人間関係がわからない

- 組織に長くいればいるほど、誰と誰が一緒に仕事していたか把握できる
- 新しくリモートの組織に入ると、今の状況はわかってても過去のことを把握するのは困難



# 社内メンバーのスキルや人間関係がわからない

- 組織に長くいればいるほど、誰と誰が一緒に仕事していたか把握できる
- 新しくリモートの組織に入ると、今の状況はわかってても過去のことを把握するのは困難
  - 今のプロダクトオーナーが、実は以前テックリードとして働いていてバリバリコード書けたとか
  - リモートだとなぜか過去の話題になりにくい

## **チームの仕事が属人化してしまう**

- 「この仕事はあの人が前やったから、今回もお願いしよう」

## チームの仕事が属人化してしまう

- 「この仕事はあの人が前やったから、今回もお願いしよう」
- ドキュメント化されない秘伝の知見がその人に閉じてしまう

## チームの仕事が属人化してしまう

- 「この仕事はあの人が前やったから、今回もお願いしよう」
- ドキュメント化されない秘伝の知見がその人に閉じてしまう
- オフィスだと教えてもらおうきっかけを作りやすいのに...

## チームの動きが局所最適化されてしまう

- コミュニケーションがチーム内に閉じてしまうと、社内であっても他のチームがどんなことをやっているかわからない

## チームの動きが局所最適化されてしまう

- コミュニケーションがチーム内に閉じてしまうと、社内であっても他のチームがどんなことをやっているかわからない
- 似たような調査や課題解決を、別のチームがそれぞれやってしまうことも
  - 同じ轍を踏む...

# 情報の偏りが様々な弊害を及ぼす

- 個人
  - 日々インプットする情報に偏りが生じてしまう
  - 社内の人間関係の経緯を把握するハードルが高い
- チーム
  - チームの仕事が属人化してしまう
- 組織全体
  - チームの動きが局所最適化されてしまう

# 情報の偏りの性質と原因



**情報の偏り自体はリモートワークと関係なく生じてしまうもの**

リモートワークだと顕著に出やすい印象

**情報の偏りの原因はなんだろう...？**

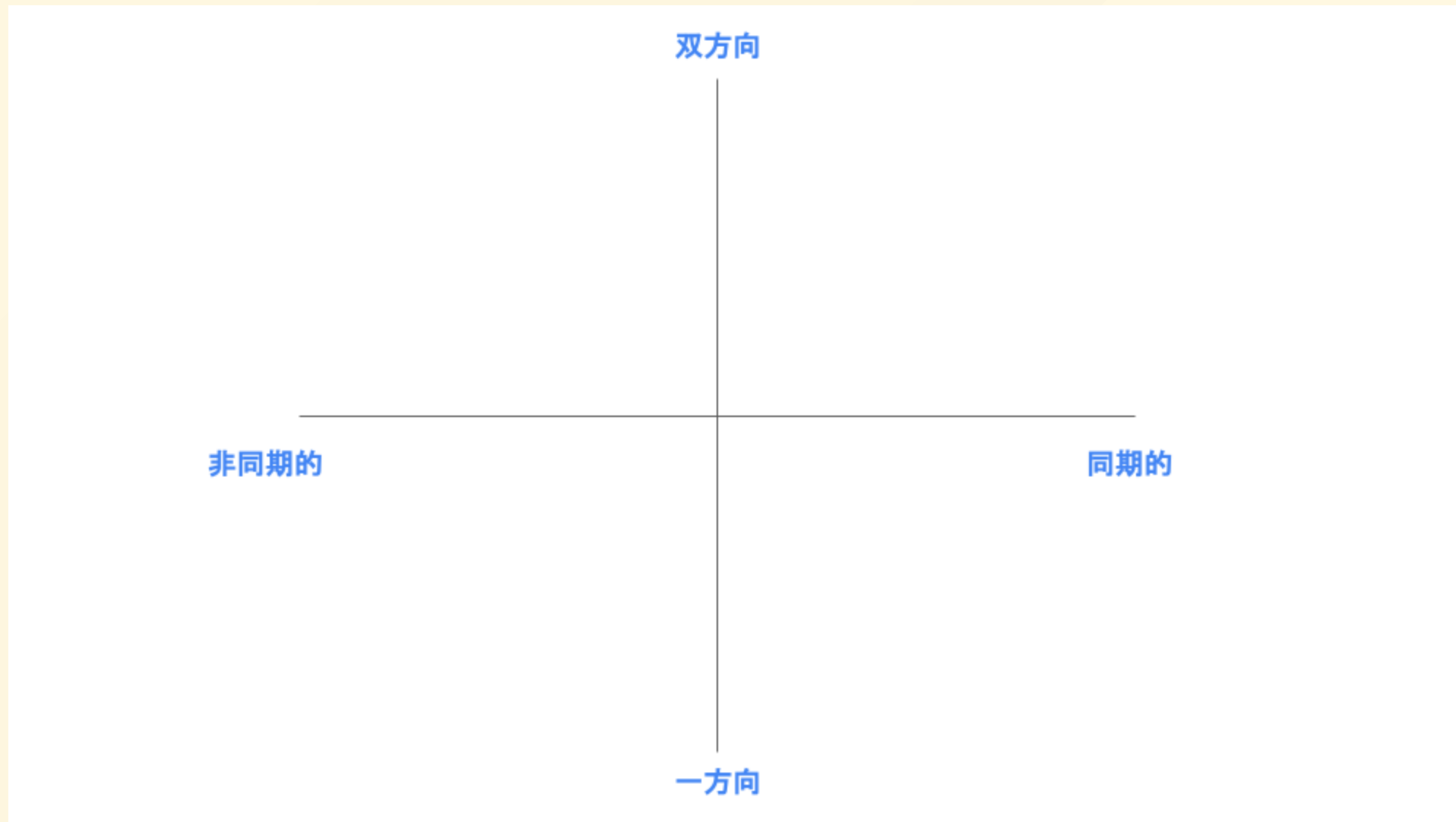
色々考えたり経験した結果...

**結局は「雑談不足」が原因**

もう少しロジカルに考えてみる

**コミュニケーションを分類して考えてみる**

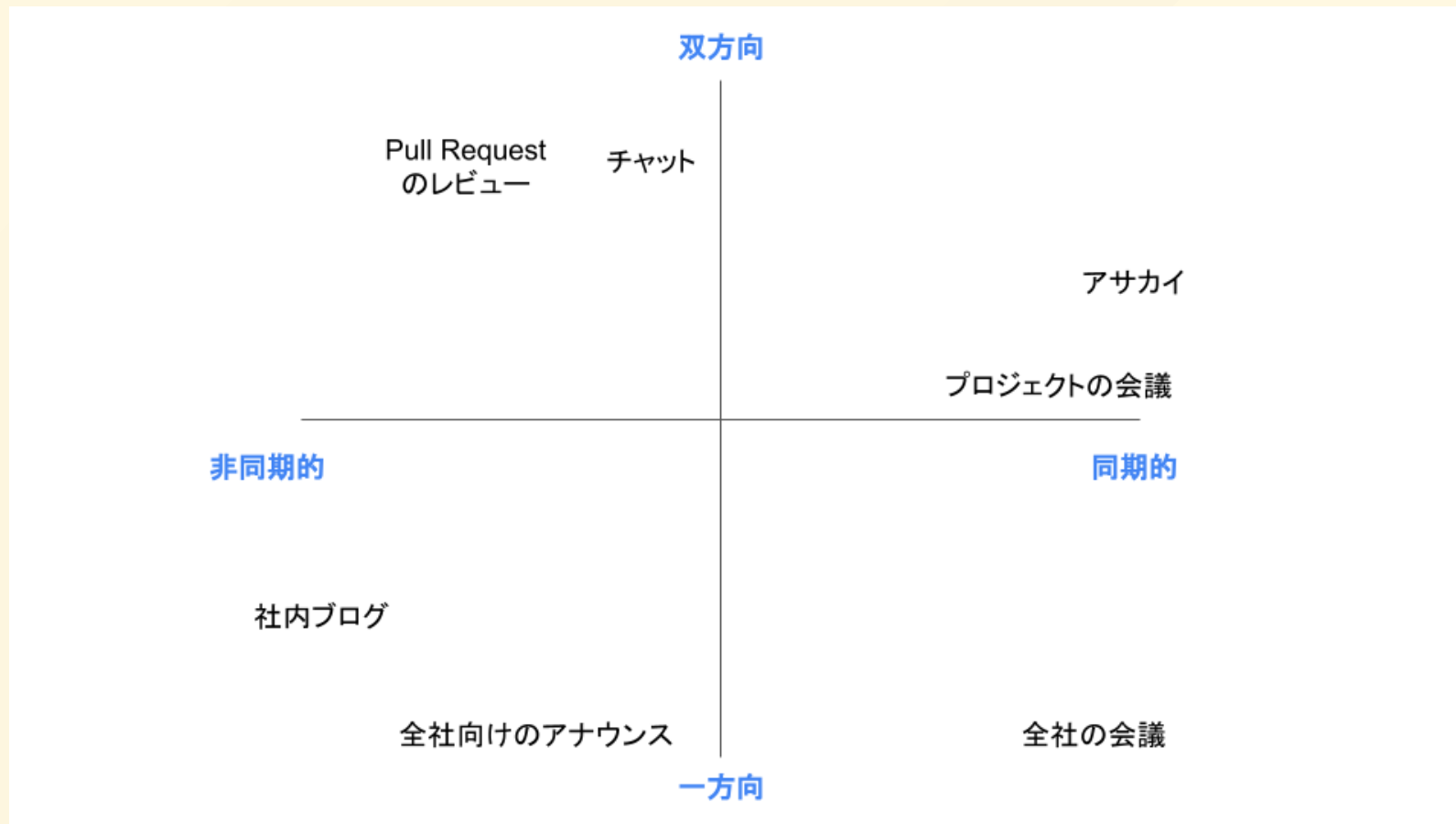
# 同期的かどうか、双方向か一方向かで分類できそう



# オフラインでのコミュニケーションを考えてみる

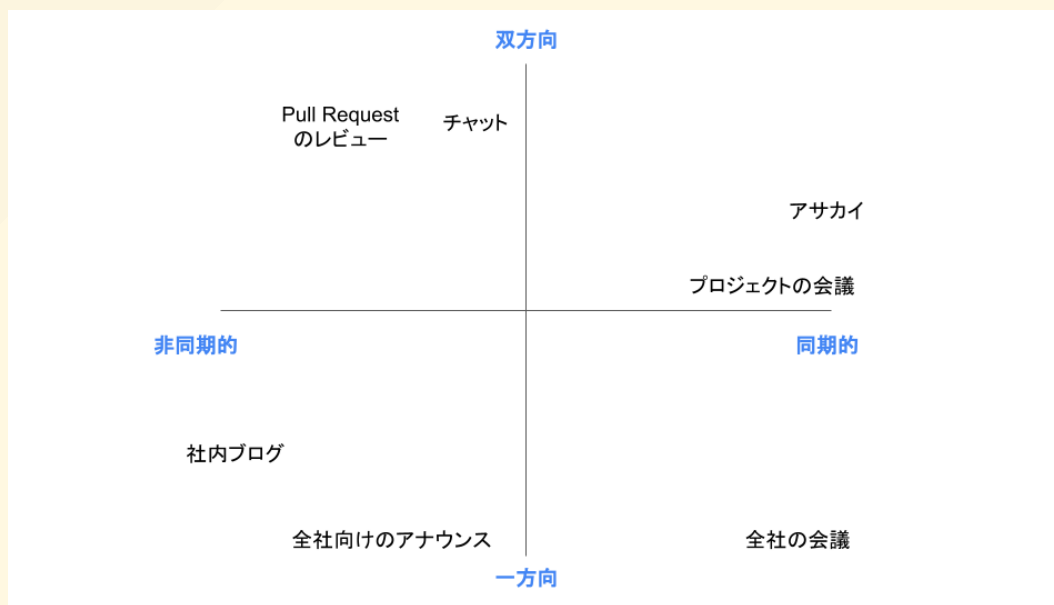


# オンラインでのコミュニケーションを考えてみる

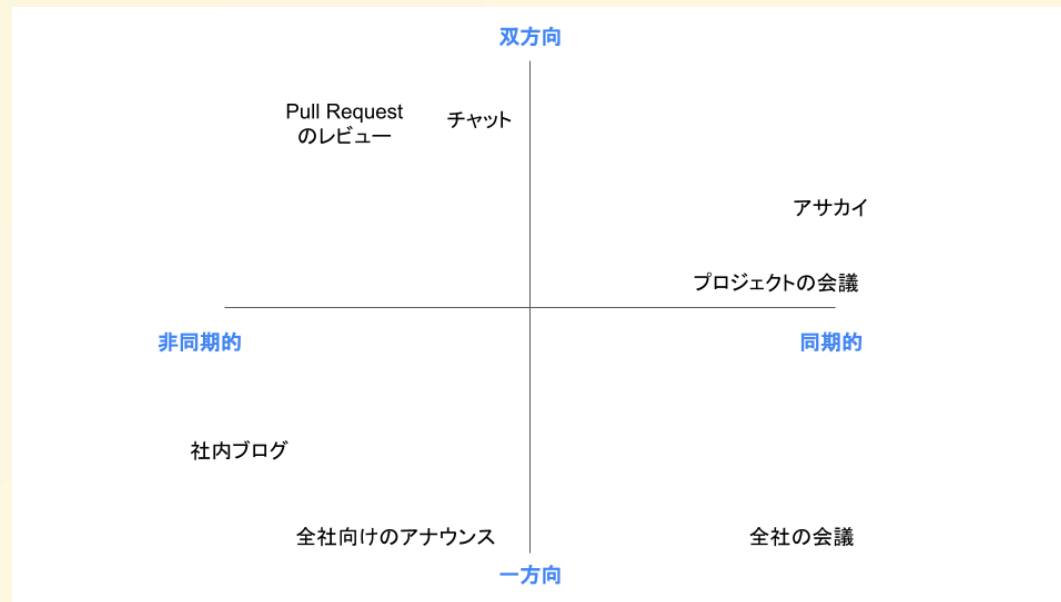


同期的で双方向のコミュニケーションが少ない...

# オフライン / オンライン







**同期的な双方向コミュニケーションが貴重...！**

**貴重な時間を雑談に使いにくい**

# 情報の偏りの原因

- 雑談不足が情報の偏りを大きくしてしまう
  - ふとした会話が知識の共有や組織改善のきっかけにつながる

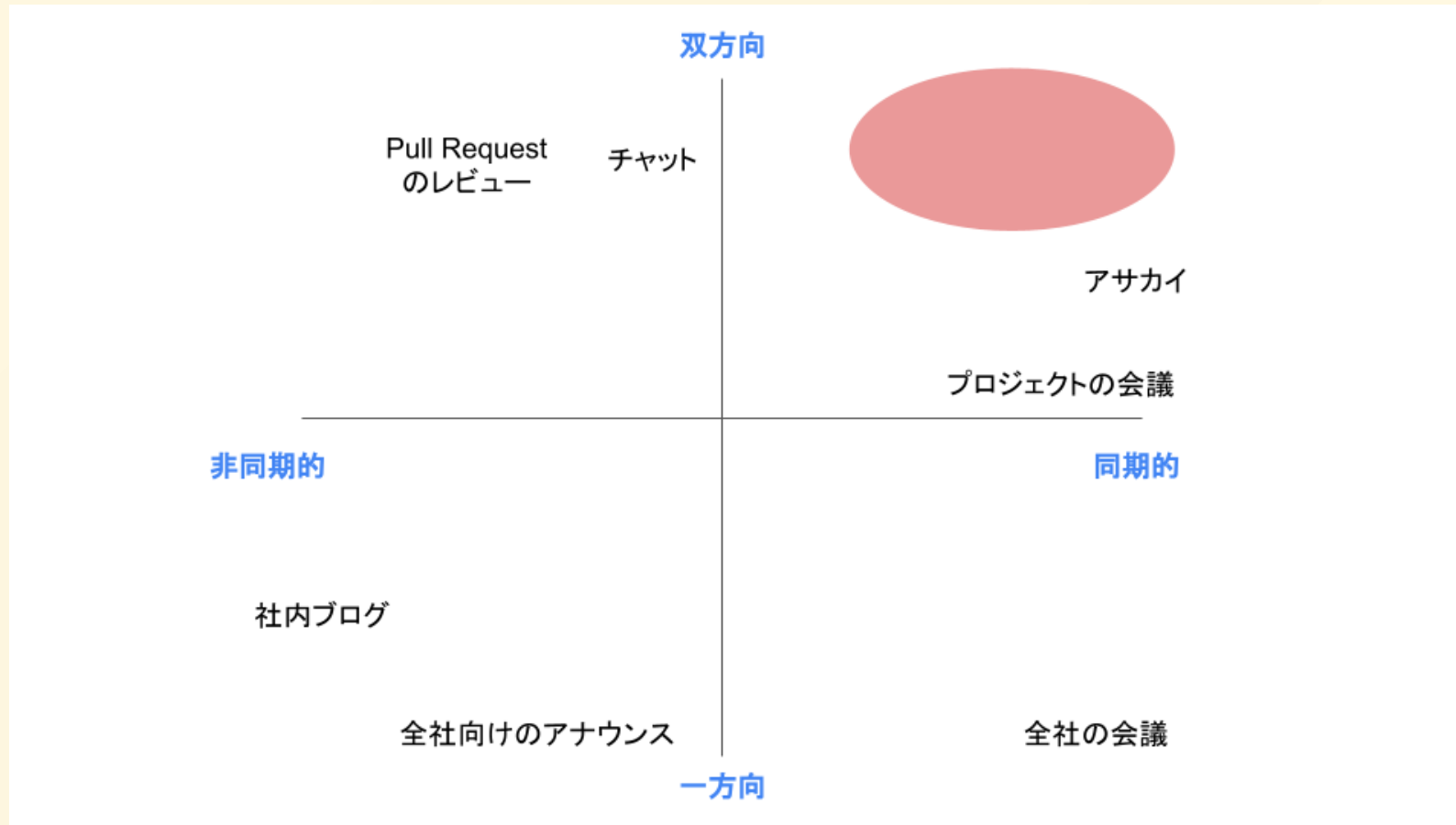
# 情報の偏りの原因

- 雑談不足が情報の偏りを大きくしてしまう
  - ふとした会話が知識の共有や組織改善のきっかけにつながる
- 雑談が不足するのは「同期的な双方向コミュニケーション」が貴重だから
  - 雑談は後回しにして、本題に入ってしまう

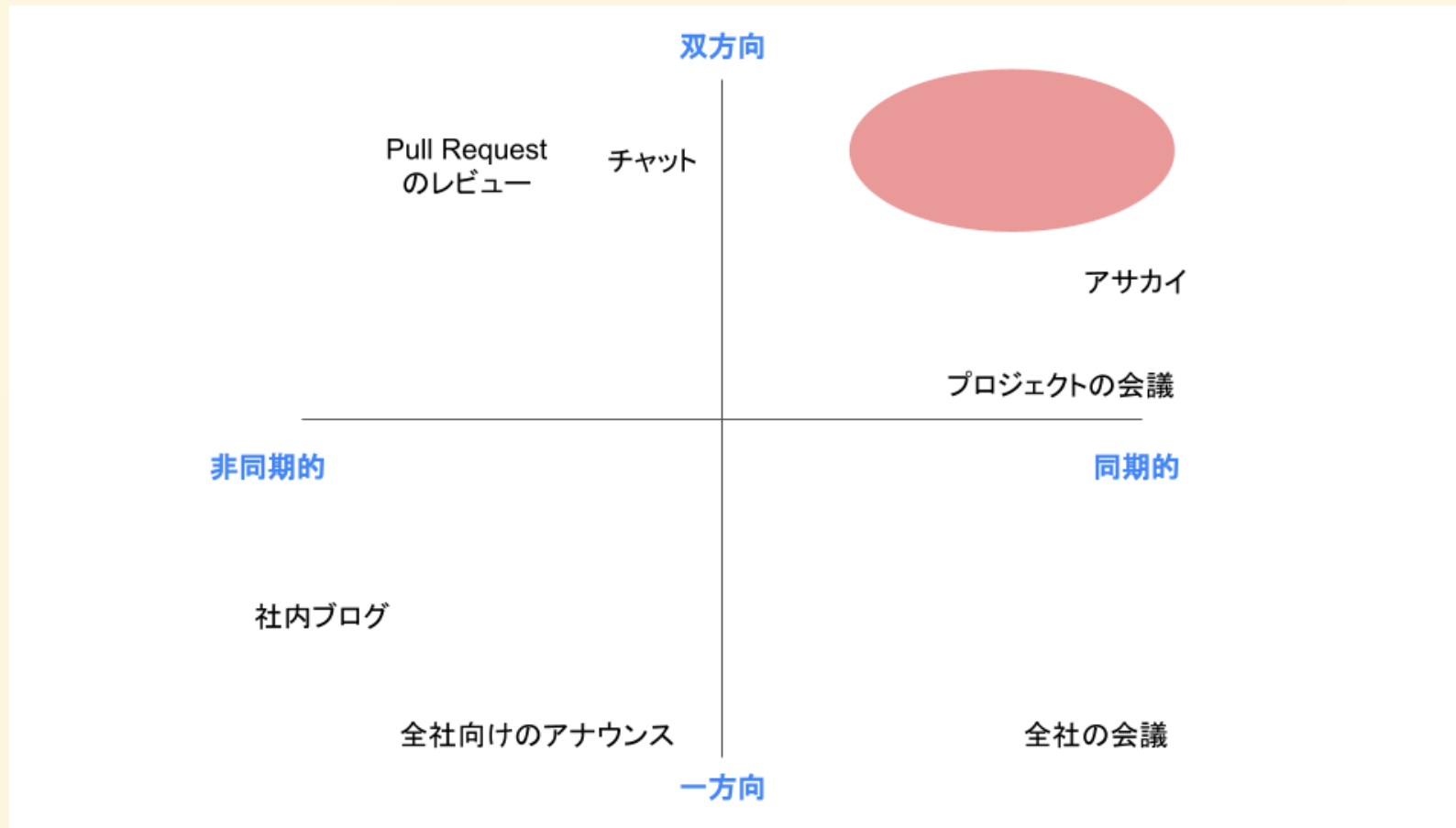
# オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方

# 雑談増やせばいいんじゃない？

でも、いきなり雑談してくださいと言われても...



**原因を逆手に取ると、  
同期的な双方向コミュニケーションが雑談を生みやすい**

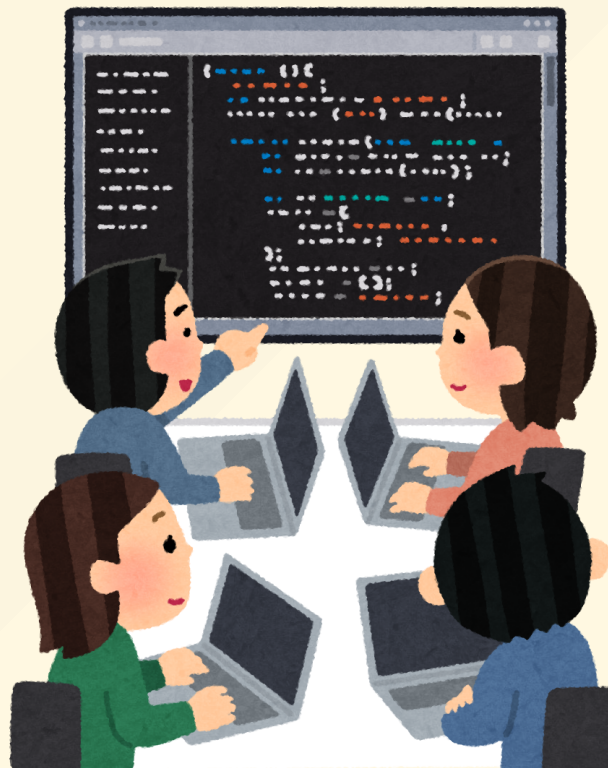


**同期的な双方向コミュニケーションを  
戦略的に増やしていこう**

# やってよかった施策の紹介



# モブプロ・ペアプロの実践



# モブプロ・ペアプロの実践



# モブプロ・ペアプロの実践

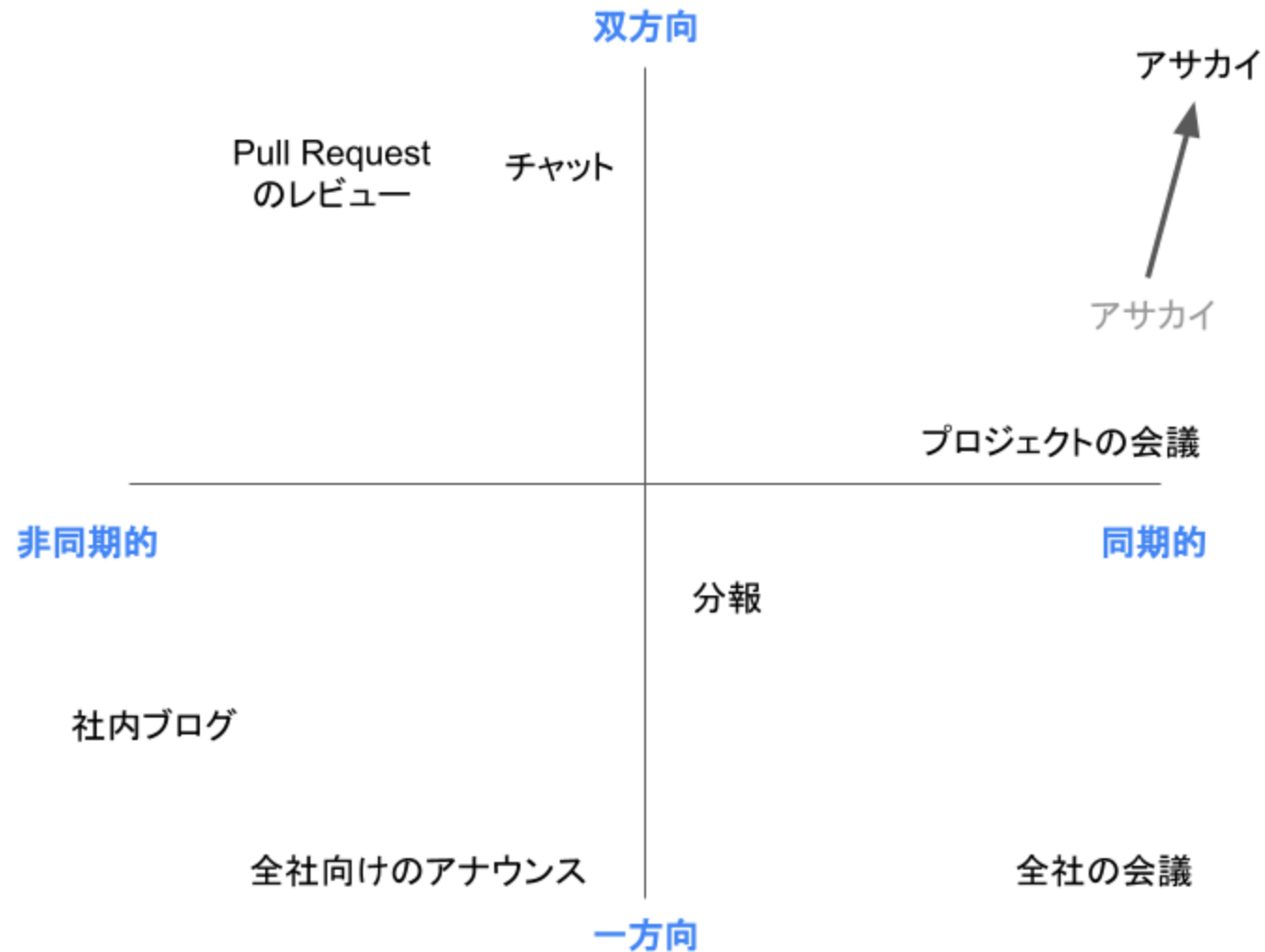
どういうときにモブプロ・ペアプロをやるのかチームで決めておくのがおすすめ

- 初回リリースまでは意思決定が多いのでモブプロで行う
- 30分やって原因がわからないバグがあれば、ペアプロを行う
- 常にモブプロを実践する

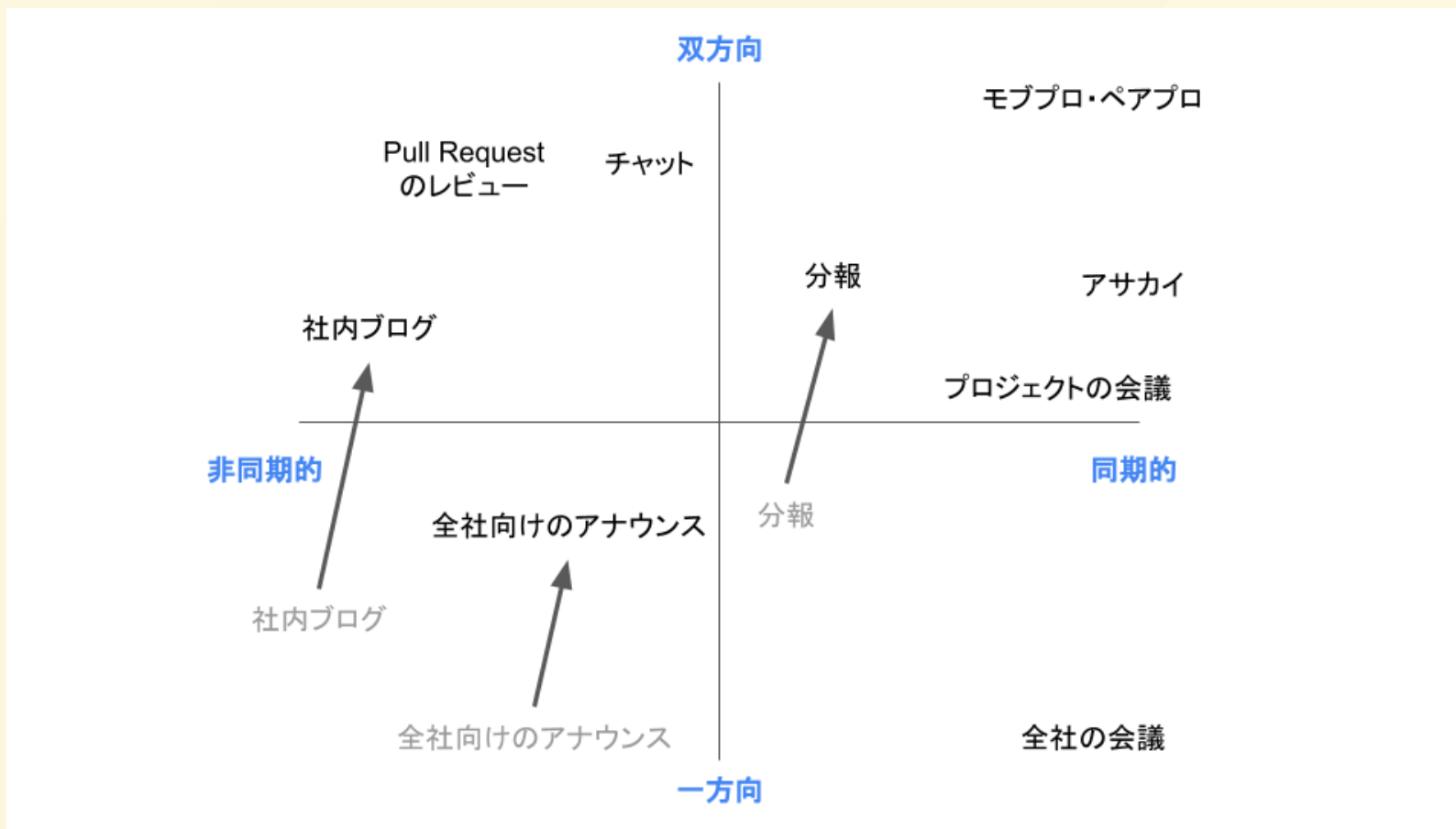
# アサカイで1人1ネタ、 気になったニュースと見解を共有する



# アサカイでニュース共有



# 双方向を意識したコミュニケーション



アサカイに限らず、ちょっとした工夫で双方向要素を加えられる

# 究極的にはオフラインで会う



# 究極的にはオフラインで会う





# 究極的にはオフラインで会う

会社の規模やオフィスと自宅の距離によりますが、以下のペースで会うことが多い

- チームメンバーとは1～2ヶ月に1回程度
- 部署単位だと四半期に1回程度
- 会社全体だと年に1回程度

# オフラインで会って何をするか

特に以下のような場合に、積極的にオフラインで会うようにしている

- 中長期のロードマップを計画するとき
- チームや組織全体に影響する根深い問題に気づいたとき

通常業務をなるべく入れずに、今後の方針策定などにじっくり時間を  
使うことが多い

# やってよかった施策の紹介

- 同期的な双方向コミュニケーションの場を設ける
  - モブプロ・ペアプロ

# やってよかった施策の紹介

- 同期的な双方向コミュニケーションの場を設ける
  - モブプロ・ペアプロ
- 既存のコミュニケーションに双方向の要素を加える
  - アサカイでニュース共有

# やってよかった施策の紹介

- 同期的な双方向コミュニケーションの場を設ける
  - モブプロ・ペアプロ
- 既存のコミュニケーションに双方向の要素を加える
  - アサカイでニュース共有
- オフラインで顔を合わせる機会を設ける
  - ロードマップ策定、開発合宿、社内LT大会

# まとめ

# まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題とは？
  - 雑談不足が**情報の偏り**を生み、様々な弊害をもたらす

# まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題とは？
  - 雑談不足が**情報の偏り**を生み、様々な弊害をもたらす
  - 雑談不足なのは同期的な双方向コミュニケーションが貴重だから



# まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方
  - 雑談を増やす、同期的な双方向コミュニケーションを増やす

# まとめ

- オンラインコミュニケーションの課題の乗り越え方
  - 雑談を増やす、同期的な双方向コミュニケーションを増やす
    - モブプロ・ペアプロ
    - アサカイでニュース共有
    - オフラインで会う

**日々のコミュニケーションを整理してみると、  
不足しがちなコミュニケーションに気づけるかも？**

ぜひやってみてください！